

## マルコの福音書8:1-13 キリストに従う者が求めるのは、奇跡でなくキリストです

今日の箇所では、数章前のマルコの福音書6章にあった物語とよく似た話を見ていきます。マルコの福音書8:1-13で、以前と同じわずかな魚とパンで、イエスは群衆の胃を満たしました。まずは1-10節まで、5000人の男たちに加え女性と子どもにも食べ物を与えたのと同様の奇跡について読みましょう。「そのころ、再び大勢の群衆が集まっていた。食べる物がなかったので、イエスは弟子たちを呼んで言われた。2 「かわいそうに、この群衆はすでに三日間わたしとともにいて、食べる物を持っていないのです。3 空腹のまま家に帰させたら、途中で動けなくなりま。遠くから来ている人もいます。」4 弟子たちは答えた。「こんな人里離れたところで、どこからパンを手に入れて、この人たちに十分食べさせることができるでしょう。」5 すると、イエスはお尋ねになった。「パンはいくつありますか。」弟子たちは「七つあります」と答えた。6 すると、イエスは群衆に地面に座るように命じられた。それから七つのパンを取り、感謝の祈りをささげてからそれを裂き、配るようにと弟子たちにお与えになった。弟子たちはそれを群衆に配った。7 また、小魚が少しあったので、それについて神をほめたたえてから、これも配るようと言われた。8 群衆は食べて満腹した。そして余りのパン切れを取り集めると、七つのかごになった。9 そこには、およそ四千人の人々がいた。それからイエスは彼らを解散させ、10 すぐに弟子たちとともに舟に乗り、ダルマヌタ地方に行かれた。」

既に指摘したように、ここに記されている奇跡は、以前マルコの福音書6:30-44で見た奇跡と非常によく似ています。イエスはいくつかのパン、今回は5個ではなく7個ですが、それから少しの魚で4000人の群衆のお腹を満たされました。数週間前と同じ説教を、今回もすればよいだけかもしれませんが、聖霊はマルコを用いて全く同じことを伝えるために、これら2つの出来事を記させたわけではありません。もちろん、これら2つの出来事に共通する原理や真実はあるのですが、同じことを繰り返すのではなく、この奇跡的な出来事について前回お話しした点をまずは手短にお話しします。その上で、今日の聖書箇所から違う点について見ていきます。マルコの福音書6章で、この奇跡について触れた際には、イエスのあわれみと弟子たちのあわれみに注目して、それらを比較しました。どちらも人々にあわれみを示しましたが、一方は霊的なあわれみ、もう一方は肉体的なあわれみでした。そして、その聖書箇所から、イエスに在って霊的、肉体的どちらのあわれみも同時に示すことが可能で、すべての必要が満たされるのだということを見ました。そして、イエスが霊的、肉体的な必要のどちらにも完全にあわれみを示すことができになるのは、その力ゆえであることを見ました。このことは、私たちが今日、聖書的なあわれみを他の人々に示し、その中に人々がイエス・キリストを見て、知るようになるためには、イエスの力が必要だということを示しています。あわれみについてのそれら全ての真実は、この箇所においても真実です。2節でイエスご自身が「かわいそうに、この群衆はすでに三日間わたしとともにいて、食べる物を持っていないのです。」と言われたことに注目してください。そして再び、弟子たちがパンと魚を持ってくることで、イエスの力が発揮され、そのわずかな食物が4000人を賄うのに十分な食事となったのです。イエスは弟子たちの働きを用いてあわれみの業を成されましたが、それはイエスの力によって成されたのだということも前回お話ししました。食べ物を見つけたのも弟子でしたし、食べ物を集めたのも、それを配ったのも弟子たちでした。キリストの力によって成された弟子たちの働きは、人々の必要を満たすことができました。基本的には同じ奇跡の出来事が2回記された理由の一つは、その奇跡に与った人々にあります。最初の奇跡に与った10000人近い人々は、ガリラヤ湖の西側にいる主にユダヤ人たちでした。奇跡の後、メシアが来ることを期待していた人々が、イエスを地上の王にしようとしたことを思い出してください。ですが、2つ目の出来事にある人々は異邦人が住んでいたガリラヤ湖の東側にあるデカポリス地方の住民であったと思われます。前回見た、悪霊に取りつかれた娘をもつ女から始まる箇所と同じく、イエスはユダヤ人であろうと異邦人であろうと変わらぬあわれみを持っておられることを聖霊は私たちに示されたいのです。神のあわれみはすべての人に示されます。

これは重要な真実です。けれど、今日注目したいのは、この状況における弟子たちの反応と、マルコの福音書8:11-13で起こることとの対比です。では、これらの節を読みましょう。「11 す

ると、パリサイ人たちがやって来てイエスと議論を始めた。彼らは天からのしるしを求め、イエスを試みようとしたのである。12 イエスは、心の中で深くため息をついて、こう言われた。「この時代はなぜ、しるしを求めるのか。まことに、あなたがたに言います。今の時代には、どんなしるしも与えられません。」13 イエスは彼らから離れ、再び舟に乗って向こう岸へ行かれた。」私はいつもこの箇所についての説教を聞いたり、この箇所を読んだりする中で、弟子たちが既に同じ状況でイエスが奇跡を成されるのを見ていたにも関わらず、という否定的な見方に触れてきました。彼らはどうしてそうだったのか、と。弟子たちは、群衆にイエスが食べ物を与えることができることを知っていたはずですが、そのような視点は、この奇跡が起こるまでの展開と、しるしを求めるパリサイ人たちについて記されている直前に、この奇跡が記されていることの意味を欠いたものです。

5000人を賄った奇跡と4000人を賄った奇跡には、その展開に一つの大きな違いがあります。5000人を賄った際には、弟子たちがイエスのもとへ行き、人々が食べ物を必要としていることを伝え、イエスは弟子たちのあわれみに応えて奇跡をおこなわれました。ですが、4000人を賄った場面では、イエスご自身が弟子たちのところへ行き、奇跡をおこなわれました。重要なのはこの点にあります。弟子たちはイエスに「また奇跡をおこなってください！」とは言いませんでした。以前の奇跡を見た後ならば、弟子たちがそのような反応をしたらと思うても当然です。当然、もう一度奇跡が起こることを期待していたでしょう。先ほども触れましたように、このことが弟子たちの信仰の欠如とみなされることが多々あります。ですが、私はそのように思いませんし、聖書もそれが信仰の欠如として示してはいません。弟子たちが船の中で、イエスが水の上を歩かれるのを目撃した際の、驚きの中であって、彼らの心の頑なさ、信仰の無さについてマルコは述べています。マルコの福音書6章の最後、51、52節に「そして、彼らのいる舟に乗り込まれると、風はやんだ。弟子たちは心の中で非常に驚いた。52 彼らはパンのことを理解せず、その心が頑なになっていたからである。」とあります。その状況での弟子たちの反応は信仰が欠如していましたが、ここで彼らがすぐに奇跡的な解決策に飛びつかなかったことに対して、イエスの側からの非難は見受けられません。実際、マルコの福音書全体を通して見えるのは、奇跡を望むのはイエスに反対する者たちだけであり、真にイエスに従う者たちの中には見られないということです。だからこそ11-13節のパリサイ人との対比が重要なのです。パリサイ人達は、彼が本当にメシアであり、神の子であることを示すしるしを求めました。もちろん、彼らはイエスが何を見せても信じることはなかったでしょう。実際、既にイエスが人々を癒されているのを目撃していました。何千人もの人々をわずかな魚とパンで満たされたことも聞いていたのではないかと思います。キリストの正体を明らかにするために天からのしるしを求めるといふ彼らの主張は不誠実なもので、彼らは何を見ても信じるつもりなどありませんでした。この、しるしを求めた人と求めなかった人との違いは、キリストに従うことの意味を本当に理解している人とそうでない人との大きな違いを示しています。キリストに従う人は奇跡よりもキリストとの関係を求めます。聖霊の靈感により、使徒パウロはこのことについてコリント第一1:22-24でこう述べています。「ユダヤ人はしるしを要求し、ギリシア人は知恵を追求します。23 しかし、私たちは十字架につけられたキリストを宣べ伝えます。ユダヤ人にとってはつまずき、異邦人にとっては愚かなことですが、24 ユダヤ人であってもギリシア人であっても、召された者たちにとっては、神の力、神の知恵であるキリストです。」ユダヤ人パリサイ派の人々が奇跡を求めたのは、イエスが受肉された神ご自身で、イエスと共にいることが神を完全に体験することを意味するのだという真実を受け入れられなかったからです。人々をキリストに従わせるのは、奇跡でもなければ、神の存在についての完璧な論証でもありません。人々をイエス・キリストに従わせるのは、イエス・キリストの説教です。今日のキリスト教において、私たちはこの真理を見失っています。十分な信仰さえあれば、奇跡は起こるし、起こっていると宣言する教会が世界中にあります。クリスチャンであるとは、キリストに従う者であるとは、イエスが新約聖書で行ったような超自然的な奇跡を日常に経験することだと彼らは信じています。ですから、癒しの礼拝をおこないます。奇跡が起こらないのは、あなたの信仰が足りないからだと教えます。1980年代にしるしと不思議の運動は、伝統的なペンテコステ派の異言信仰の要素と教会が拡大し成長することへの奇跡的な

期待を組み合わせたものでしたが、それは次第に変化して新信徒的改革へとつながっていきました。この超教派の運動は非常に急速に成長し、現在、その思想と信条を世界中に広めるに至っています。その信条には、様々な教会やネットワークの指導者たちを、イエスご自身や最初の使徒たちが持っていたのと同じ、奇跡を起こす超自然的な能力を持った使徒とみなすことが含まれています。バイオラ大学のホリー・ピベックとダグラス・ゲイベットは「神の偉大な使徒たち」という本の中で、これらのリーダーたちについてこう述べています。「この指導者たちは、キリストが再臨できるよう、地上の王国を前進させるために、靈的な戦いに用いられる神の権威と靈的力を自分たちが持っていると考え。」米国だけでも、少なくとも300万人のクリスチャンが、このような指導者たちを通して超自然的な奇跡やしるしを体験することを助長する教会につながっています。福音主義キリスト教徒が人口の1%にも満たないこの日本で、キリストが切に必要であることを私は知っています。ですが、私たちが福音として示すもの、そしてキリストをどのように示すかは、聖書の真理を反映したものでなくてはなりません。そうでなければ、誤った回心につながり、人々は聖書の神ではなく、人間の派手な奇跡に目を向けることにつながります。マタイの福音書24:24は「偽キリストたち、偽預言者たちが現れて、できれば選ばれた者たちをさえ惑わそうと、大きなしるしや不思議を行います。」と警告しています。

これは今日の箇所に関連しています。もしも肉体的な奇跡がキリスト信徒がイエス・キリストを通して神と関わるために期待される方法であったなら、弟子たちが奇跡を求めなかったことは、信仰の欠如、あるいは罪であったはずですが、イエスは決してそのような扱いはされませんでした。それどころか、弟子たちが求めなかった奇跡を、弟子たちが用いられることによって祝福される形で成してくださいました。それが全てのイエスの奇跡の特徴です。奇跡は、イエスに従う者たちにとって、信じられないほどに素晴らしい、けれど予期しなかった活動なのです。ですから、たとえそれが使徒と呼ばれるような人によるものであっても、奇跡を自在に行う能力があるとか、奇跡が私たちの信仰の欠如によって何らかの影響を受ける可能性があるといった教えは、非聖書的で罪深いものです。ヨハネ第一4:1は「愛する者たち、靈をすべて信じてはいけません。偽預言者がたくさん世に出て来たので、その靈が神からのものかどうか、吟味しなさい。」と言っています。実際、しるしや奇跡を使徒として用いることを支持する人々が神からのものかを吟味すると、聖書のメッセージに適っていません。事実、彼らは、み言葉を自分たちの活動により見合ったものとするためにみ言葉を捻じ曲げ、あらゆる意味において聖書訳とは呼べない「受難訳」という独自の聖書を作り上げました。神をありのままに啓示する聖書のみ言葉ではなく、しるしを求めるよう促す人々について、申命記13章には強い警告があります。そこでは、奇跡が神の御業のしるしではないということを明確に教えています。申命記13:1-3「あなたがたのうちには預言者または夢見る者が現れ、あなたに何かのしるしや不思議を示し、2 あなたに告げたそのしるしと不思議が実現して、「さあ、あなたが知らなかったほかの神々に従い、これに仕えよう」と言っても、3 その預言者、夢見る者のことばに聞き従ってはならない。あなたがたの神、主は、あなたがたが心を尽くし、いのちを尽くして、本当にあなたがたの神、主を愛しているかどうかを知ろうとして、あなたがたを試みておられるからである。」奇跡は実際に起こります。それは現実のことですが、私たちはそれを拒絶するよう命じられていることに注目してください。問題は奇跡が実際に起こるかどうかではなく、奇跡を起こすと断言している者たちが、人々を神とイエスご自身を指し示しているのか、それともパリサイ人や行きすがりの群衆が望んだような偽りのイエスを指し示しているのかということです。私たちのイエスの見方、イエスとの関係は、イエスに対する真の理解に基づいたものでなければなりません。兄弟姉妹の皆さん、この書物、聖書、神のみ言葉は、神がどんな方かを示すこの上ない基準です。イエスご自身が、私たちに啓示される手段です。イエス・キリストを知るために必要な現代の奇跡や、預言、その他のしるしは何一つありません。私たちはイエスを見つけるために聖書を読み、イエスを他の人々に伝えるために聖書を語ります。イエスは、しるしは必要ないから、しるしは与えられないと言われます。イエスは来られました。そしてマルコの福音書が終わるまでに、イエスは死なれ、よみがえられます。歴史のこの時点にいる私たちは、肉体的な癒しの奇跡を行うためではなく、私たちに新しいところ、新しい命、創造主である神との新しい関係を与えるために死によみ

がえることで、究極の心の手術を行うために来られた方を振り返ります。イエスが求めるのはイエスを求める弟子たちで、イエスの奇跡を求める弟子たちではありません。イエスは、ご自分の霊的な力や超自然的な力ではなく、イエスご自身を人々に示す弟子たちを求めておられるのです。キリストの力を何らかの方法で体験していると誤解してしまい、イエス・キリストご自身を見失ってしまわないようにしましょう。祈りましょう。

## Mark 8:1-13 Followers of Christ seek Christ not miracles

Today in our passage we are going to look at a story that is very much like one we just saw a couple of chapters ago in Mark 6. Our passage is Mark 8:1-13 where Jesus once again feeds a crowd of people with a small amount of the exact same food he fed them with earlier- fish and bread. Let's begin by reading verses 1-10, where we see this identical miracle take place as in the feeding of the 5000 men plus women and children.

8 In those days, when again a great crowd had gathered, and they had nothing to eat, he called his disciples to him and said to them, <sup>2</sup>“I have compassion on the crowd, because they have been with me now three days and have nothing to eat. <sup>3</sup>And if I send them away hungry to their homes, they will faint on the way. And some of them have come from far away.” <sup>4</sup>And his disciples answered him, “How can one feed these people with bread here in this desolate place?” <sup>5</sup>And he asked them, “How many loaves do you have?” They said, “Seven.” <sup>6</sup>And he directed the crowd to sit down on the ground. And he took the seven loaves, and having given thanks, he broke them and gave them to his disciples to set before the people; and they set them before the crowd. <sup>7</sup>And they had a few small fish. And having blessed them, he said that these also should be set before them. <sup>8</sup>And they ate and were satisfied. And they took up the broken pieces left over, seven baskets full. <sup>9</sup>And there were about four thousand people. And he sent them away. <sup>10</sup>And immediately he got into the boat with his disciples and went to the district of Dalmanutha.

As I pointed out, the miracle that takes place here is very similar to the one we saw earlier in Mark 6:30-44. Jesus takes some loaves of bread, this time 7 rather than 5, and some fish, it just says there were a few, and feeds, in this case, a crowd of 4000 people. In some sense, I could just preach the same sermon that I preached several weeks ago, but the Holy Spirit did not guide Mark to include both of these events just to see the exact same thing in each one of them. Now of course there are similar principles and truths that are common with both of these events, but rather than repeating the same sermon, I want to quickly point out the points that I made previously that are still applicable to this miraculous event. But then I want to move on and make different application from our passage today. When we preached on this miracle of feeding in Mark 6, we focused on the fact of Jesus's compassion compared with the compassion of the disciples. And we said they both showed compassion, but in different ways – one was spiritual and one was physical. And we pointed out that the point of the passage was that in Jesus both types of compassion were reconciled- the spiritual compassion and the physical compassion- so that in Jesus, all their needs could be met. And we noticed that the reason that Jesus could show perfect compassion meeting both spiritual and physical needs was because of his power. For us this means that we need His power to truly show biblical compassion towards others even today, so that it is done in a way that they see and come to know Jesus Christ. All of those truths about compassion remain true in this passage. Notice in verse 2 that Jesus himself says, **I have compassion on the crowd, because they have been with me now three days and have nothing to eat**... And once again we see Jesus's power at work as the disciples bring him the bread and the fish, and those small servings of food become enough food to serve 4000 people. We also pointed out previously that Jesus used the ministry of the disciples to accomplish the compassionate work, but it was done through his power. It was the disciples who found the food...it was the disciples who gathered the food... and it was the disciples who passed the food out. And the disciples' ministry done in the power of Christ was effective in meeting the needs of the people. The primary reason

that there are two separate miracles recorded that are essentially the same type of miracle is in the recipients of the miracle. The first group of likely nearly 10000 took place on the western side of the Sea of Galilee to a primarily Jewish crowd. Remember, afterwards, they wanted to make him their earthly king which is how they thought the Messiah would come. But this second group of people is most likely in the area of Decapolis on the East side of the Sea of Galilee where Gentiles lived. In keeping with what we saw in the last passage we looked at starting with the woman with a demon possessed daughter, the Holy Spirit wants us to see that Jesus has the same compassion regardless of whether the people are Jews or Gentiles. God's compassion extends to all.

Now, this is an important truth. But what I want us to focus on today, is the disciples' response in this situation contrasted with what happens in the next 3 verses here in Mark 8, verses 11-13. So let's read these verses as well. <sup>11</sup> **The Pharisees came and began to argue with him, seeking from him a sign from heaven to test him.** <sup>12</sup> **And he sighed deeply in his spirit and said, "Why does this generation seek a sign? Truly, I say to you, no sign will be given to this generation."** <sup>13</sup> **And he left them, got into the boat again, and went to the other side.** I had always heard this passage preached and in many ways read this passage to show the disciples in a negative light since they had already seen Jesus perform the same miracle in a similar circumstance. What was wrong with them? They should have known Jesus could provide food for this crowd. But that was really missing the way this event unfolded to the miracle taking place, and the miracle's place in the text right before the Pharisees who looking for a sign.

There is one significant difference in the way the miracle comes about between the feeding of the 5000 and the feeding of the 4000. In the feeding of the 5000 the disciples go to Jesus and say the people need food, and it is in Jesus's response to their compassion that the miracle happens. But here in the feeding of the 4000 Jesus himself goes to the disciples and sets in motion the miracle that takes place. Now here is what is significant about this. The disciples do not respond to Jesus and say, "well just do another miracle!" You would think that after seeing the other miracle happen, they would have responded in just that way. They would have wanted to see another miracle take place. As I mentioned this has often been looked at as a lack of faith on the part of the disciples. But I don't believe, and the Bible doesn't indicate that this is a lack of faith. Remember in the boat when the disciples are confronted with Jesus walking on the water, in their amazement Mark points out the hardness, the lack of faith, of their hearts. In [Mark 6 at the end of verse 51 and verse 52](#), we read, **And they were utterly astounded, 52 for they did not understand about the loaves, but their hearts were hardened.** Their response in that situation was a lack of faith, but here there is no condemnation on the part of Jesus for them not immediately jumping to the miraculous for a solution. In fact, what we see throughout the book of Mark is that the desire for the miraculous is found only in those who oppose Jesus, not those who are truly his followers. This is why the contrast with the Pharisees in verses 11-13 is important. The pharisees were asking for a sign that he was truly who he claimed to be, the Messiah and the Son of God. Of course, they would not have believed no matter what he showed them. In fact, they had already seen him heal. They had likely heard that thousands of people were fed on a few fish and bread. Their claim to seek a sign from Heaven to prove to them his identity was disingenuous, and they had no plan to believe in him no matter what they saw.

This difference between those who wanted a sign and those who did not shows us a significant difference between those who truly understand what it means to follow Christ and those who do not. **Those who follow Christ will seek relationship over miracles.** The apostle Paul writing under the inspiration of the Holy Spirit addresses this in [1 Corinthians 1:22-24](#). [22 For Jews demand signs and Greeks seek wisdom, 23 but we preach Christ crucified, a stumbling block to Jews and folly to Gentiles, 24 but to those who are called, both Jews and Greeks, Christ the power of God and the wisdom of God.](#) The Jewish Pharisees demanded miracles because they could not accept that to be with Jesus meant to fully experience God, because he was God come in the flesh. It is not miracles or even tightly put together arguments for the existence of God that will convince people to follow Christ. It is the preaching of Jesus Christ that brings people to follow Jesus. Throughout Christianity today, we have lost sight of this truth. There are churches all around this world proclaiming that miracles will happen and are happening if you just have enough faith. They believe that to be a Christian, to be a follower of Christ means that we will regularly experience the supernatural type of miracles that Jesus performed in the New Testament. So, they hold healing services. They teach that your lack of the miraculous is because you have a lack of faith. Starting in the 1980's with the signs and wonders movement which combined elements of traditional Pentecostal beliefs in tongues with expectations of the miraculous in seeing the church expand and grow, this gradually changed to become the New Apostolic Reformation. This non-denominational specific movement has grown extremely fast, and is now promoting worldwide its ideas and beliefs. These beliefs include looking to its various group of leaders in various churches and networks as Apostles with the same supernatural abilities to perform the miraculous as Jesus himself and the first apostles had. In the book, *God's Super Apostles*, Holly Pivec and Douglas Geivett of Biola University, describe these leaders like this. *This leadership sees itself as having the divine authority and spiritual power – used in spiritual warfare – to advance God's earthly kingdom so that Christ can return.* In the United States alone, at least 3 Million Christians are involved in churches that would promote this type of immediate access through their leaders to supernatural miracles and signs. I know that we are in a country where evangelical Christianity is less than 1% of the population, and Japan desperately needs to hear about Christ. But what we present as the Gospel, and how we present Christ must reflect Biblical truth or the result will be false conversions and people turning to flashy miracles of a human being rather than the God of the Bible. [Matthew 24:24 warns us, 24 For false christs and false prophets will arise and perform great signs and wonders, so as to lead astray, if possible, even the elect.](#)

This is directly tied to our passage of scripture today. If physical miracles were the expected way for the follower of Christ to relate to God through Jesus Christ, then the fact that the disciples did not seek a miracle should have been a lack of faith or even sin on their part. But Jesus never treated it like that. Instead, he performed the miracle they were not seeking, but were blessed to be a part of. That is the nature of all of Jesus's miracles. They are an incredibly wonderful but unanticipated activity on the part of Jesus's followers. So, any teaching that a human being, even if they are a so-called apostle would have the ability to do them at will or that the miraculous could in any way be affected by our faith or lack of faith is both unbiblical and ungodly. [1 John 4:1 tells us Beloved, do not believe every spirit, but test the spirits to see whether they are from God, for many false prophets have gone out into the world.](#) And when we compare

those who support the apostolic use of sign gifts and miracles today as to whether they are from God, it does not stand up to the message of the Bible. In fact, they created their own version of the Bible, "The Passion Translation", which is not a translation in any sense of the word, so they could twist the scriptures to fit more of their practices. In regards to people who would encourage us to look at signs rather than Scripture, which reveals God as He truly is, there is a strong warning in Deuteronomy 13 that would apply. It clearly tells us that a miracle is not the sign of God's work. [Deuteronomy 13:1-3](#) says, "If a prophet or a dreamer of dreams arises among you and gives you a sign or a wonder, 2 and the sign or wonder that he tells you comes to pass, and if he says, 'Let us go after other gods,' which you have not known, 'and let us serve them,' 3 you shall not listen to the words of that prophet or that dreamer of dreams. For the Lord your God is testing you, to know whether you love the Lord your God with all your heart and with all your soul. Notice here that the miracle actually happens...It's real, but yet we are told to reject them. The question is not do miracles actually occur, but whether those that proclaim to do them are pointing people to God and to Jesus himself or to a false version of Jesus that is closer to what the Pharisees and the random crowds of people wanted. Our view of Jesus, our relationship with Jesus must be based on a true understanding of Him. Brothers and sisters, this book, this Bible, the Word of God is the supreme standard of who God is. It is how Jesus himself is revealed to us. There is no modern miracle or prophecy or any other sign needed to know Jesus Christ. We go to Scripture to find Jesus, and we preach the Bible to reveal Jesus to others. Jesus says, no sign will be given, because no sign is necessary. He has come...and before the book of Mark ends, he will die and then rise again. And from our place in history, we look back on the one who came not to perform miracles of physical healing, but to perform the ultimate heart surgery, by dying and rising again to give us a new heart, a new life, a new relationship with God our Creator. Jesus wants disciples who are looking for him, NOT for his miracles. Jesus wants followers who point people to Himself and not to any version of their own spiritual or supernatural power. Don't be misled into thinking that you are experiencing some version of Christ's power and miss Jesus Christ himself. Let's pray.